

令和3年度第1回 芦屋市廃棄物減量等推進審議会資料

※資料中のアンケート結果は速報値で作成しています。
全意見の集計ではありません

令和2年度中間目標達成状況

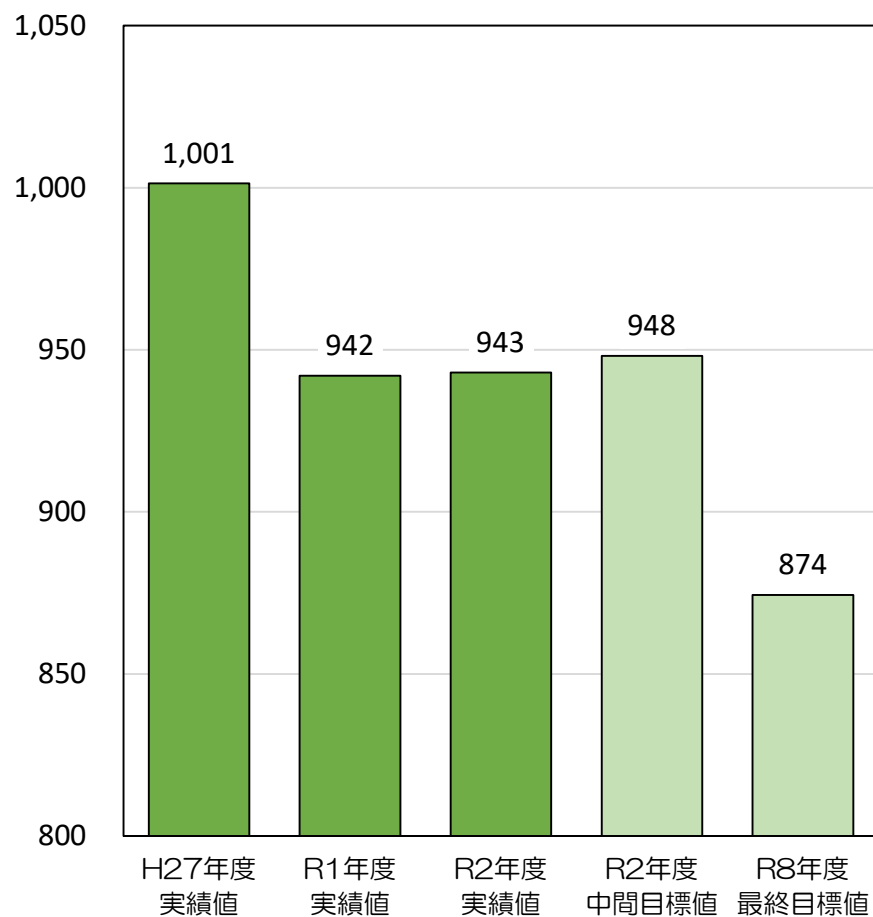
中間目標は半分の項目で達成

項目	単位	H27年度 実績値	R1年度 実績値	R2年度 実績値	R2年度 中間 目標値	中間目標 達成状況	乖離率	R8年度 最終 目標値
1人1日当たり のごみ排出量	g/人・日	1,001	942	943	948	○		874
1人1日当たり の家庭系ごみ 排出量	g/人・日	568	535	550	529	×	-3.8%	474
事業系ごみ 排出量	t/年	9,132	8,949	8,385	8,584	○		7,762
集団回収量	t/年	3,894	3,332	3,074	3,979	×	-29.4%	4,123
リサイクル率	%	17.1	16.3	16.4	18.9	×	-15.2%	21.1
最終処分量	t/年	5,194	4,372	4,361	4,825	○		4,339

1人1日当たりのごみ排出量と家庭系ごみ排出量

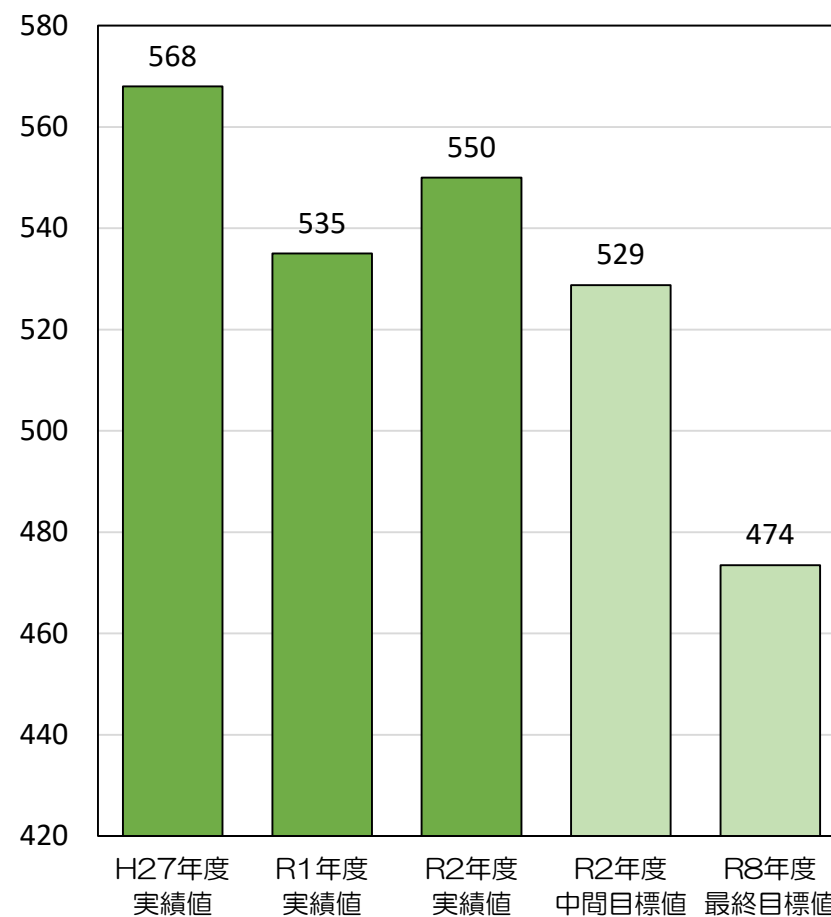
1人1日当たりのごみ排出量

(g/人・日)



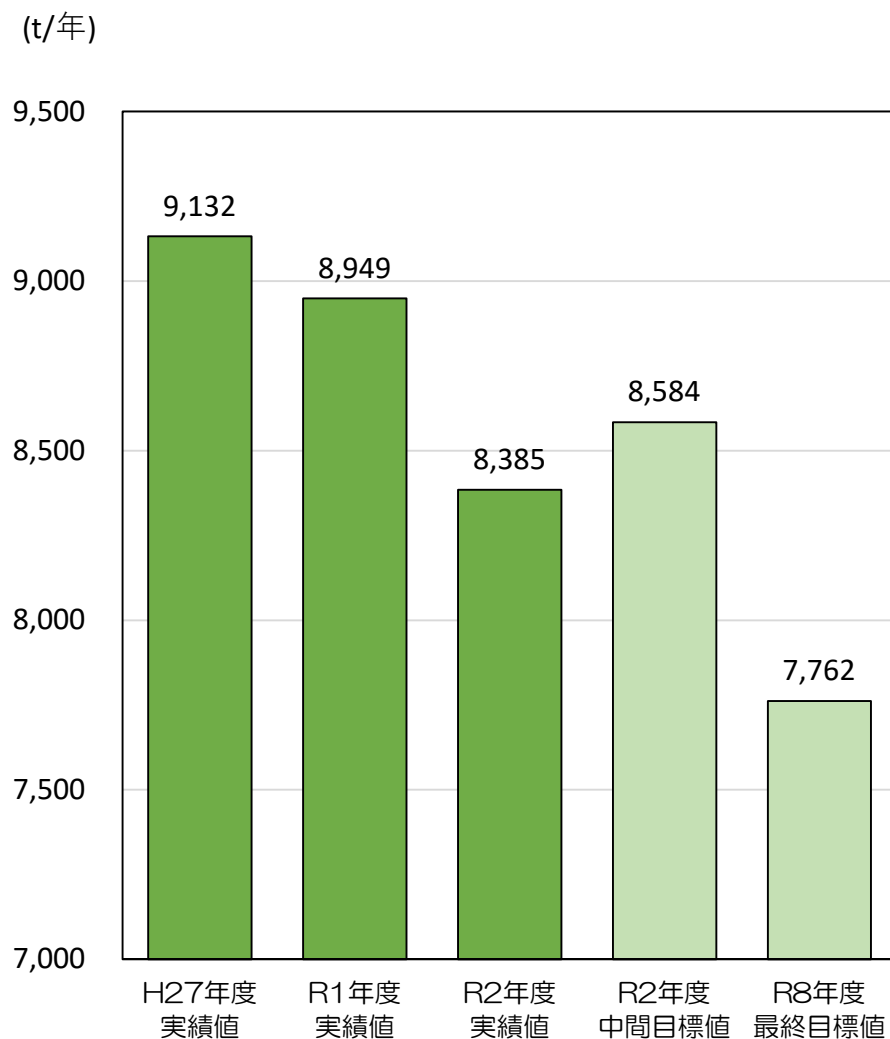
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量

(g/人・日)

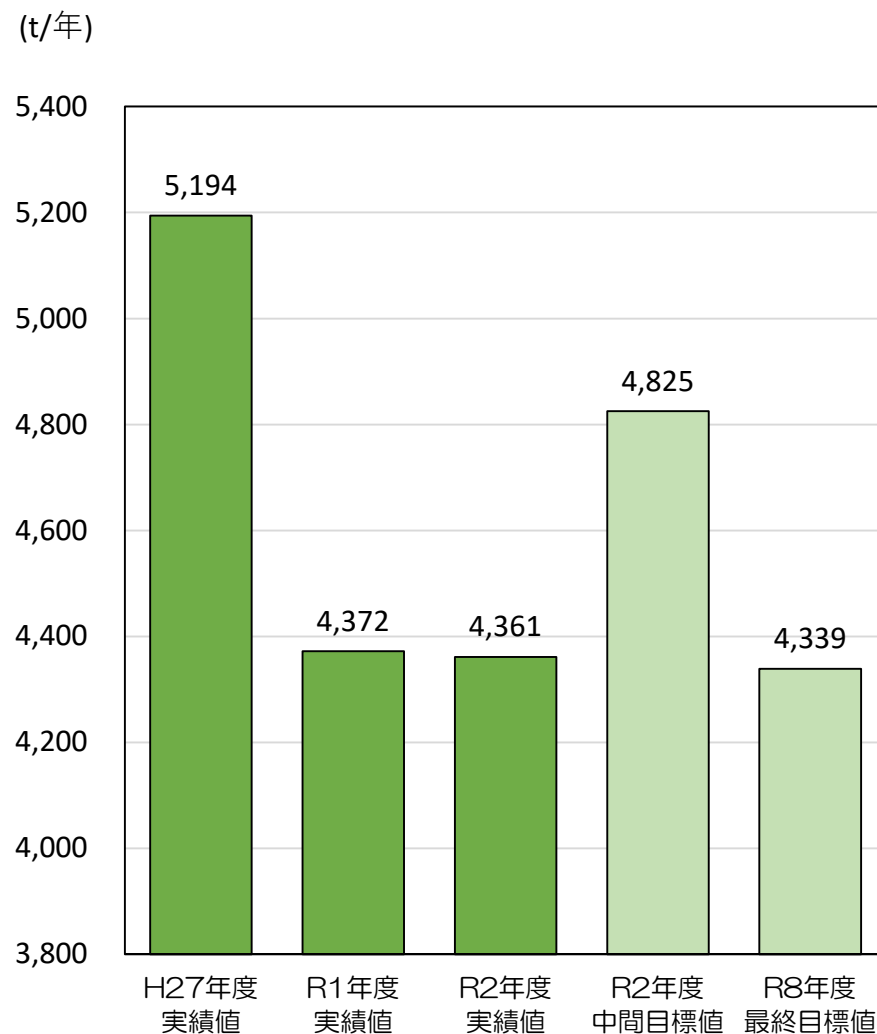


事業系ごみ排出量と最終処分量

事業系ごみ排出量

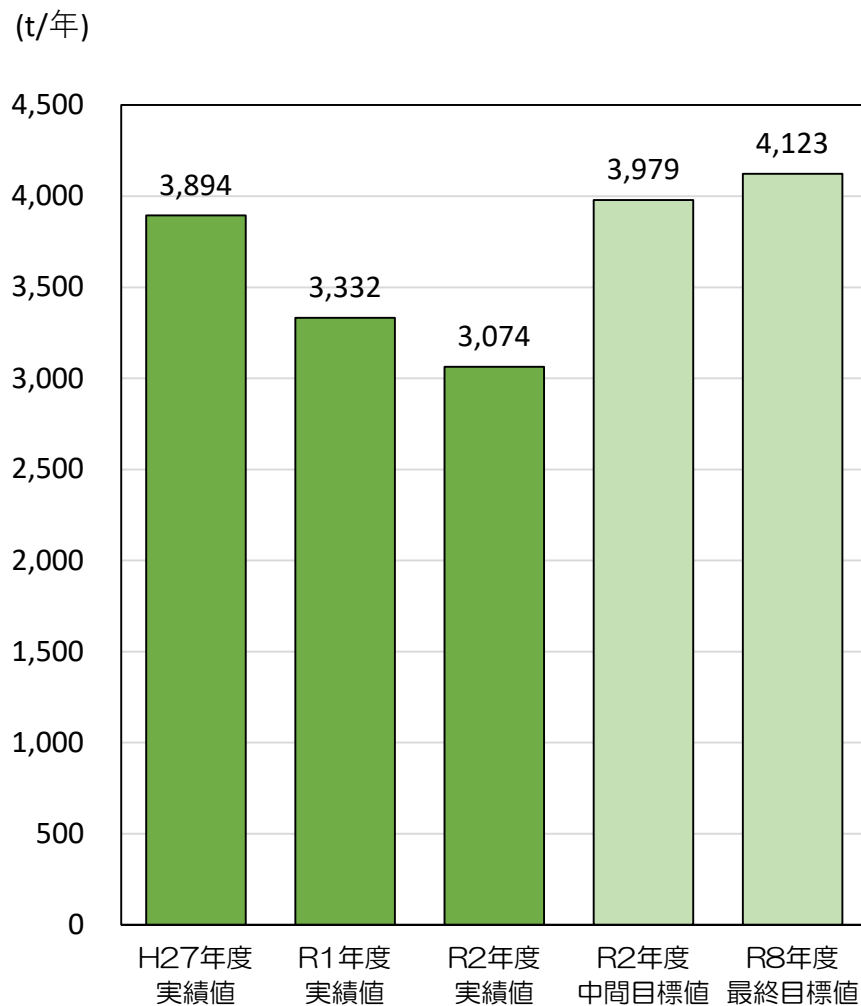


最終処分量

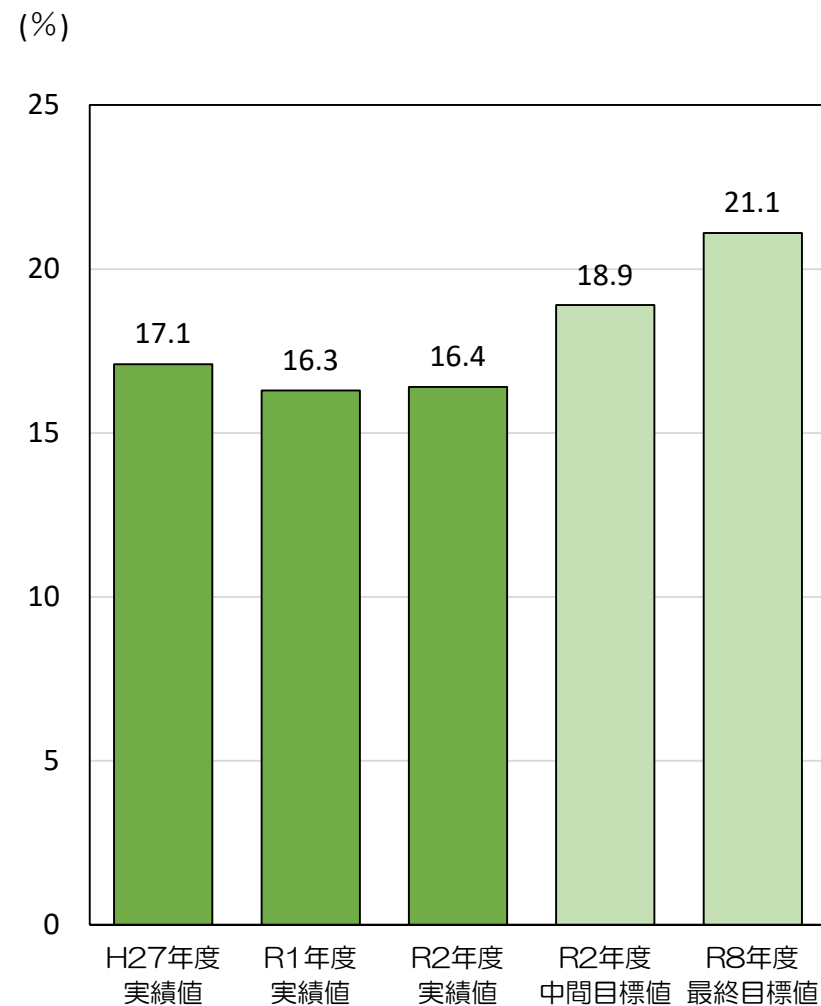


集団回収量とリサイクル率

集団回収量



リサイクル率

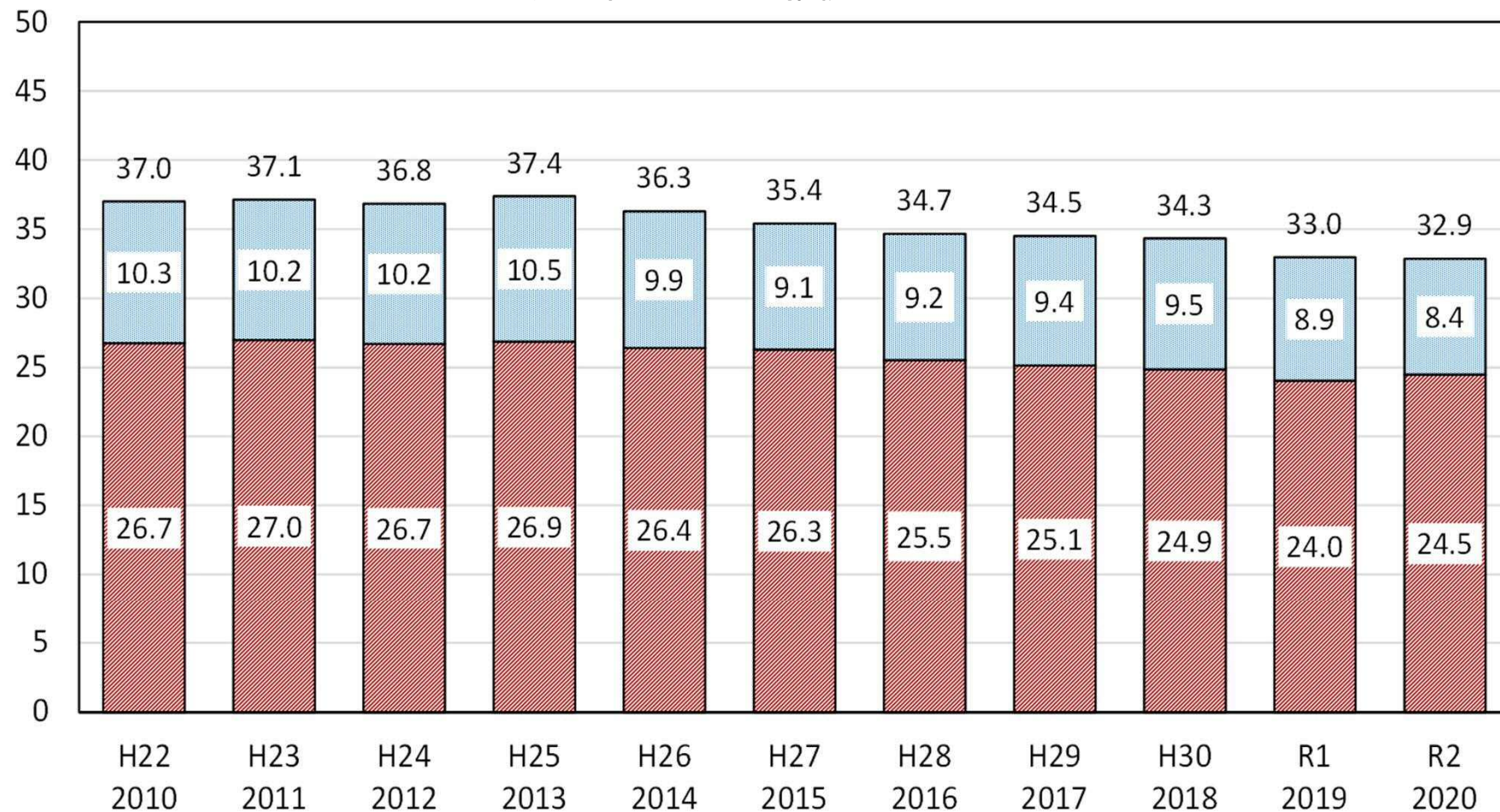


No1.資料 芦屋市のごみ量

毎年減少しています(10年で4000t減少)

(千t/年)

● 芦屋市のごみ量の推移



■ 家庭系ごみ (資源ごみ、集団回収を含む) □ 事業系ごみ

No.1資料 他市比較(1人1日当たりの家庭系ごみの量)

全国平均, 兵庫県平均より近年5年の減少率は大きいが他市よりごみ量が多い

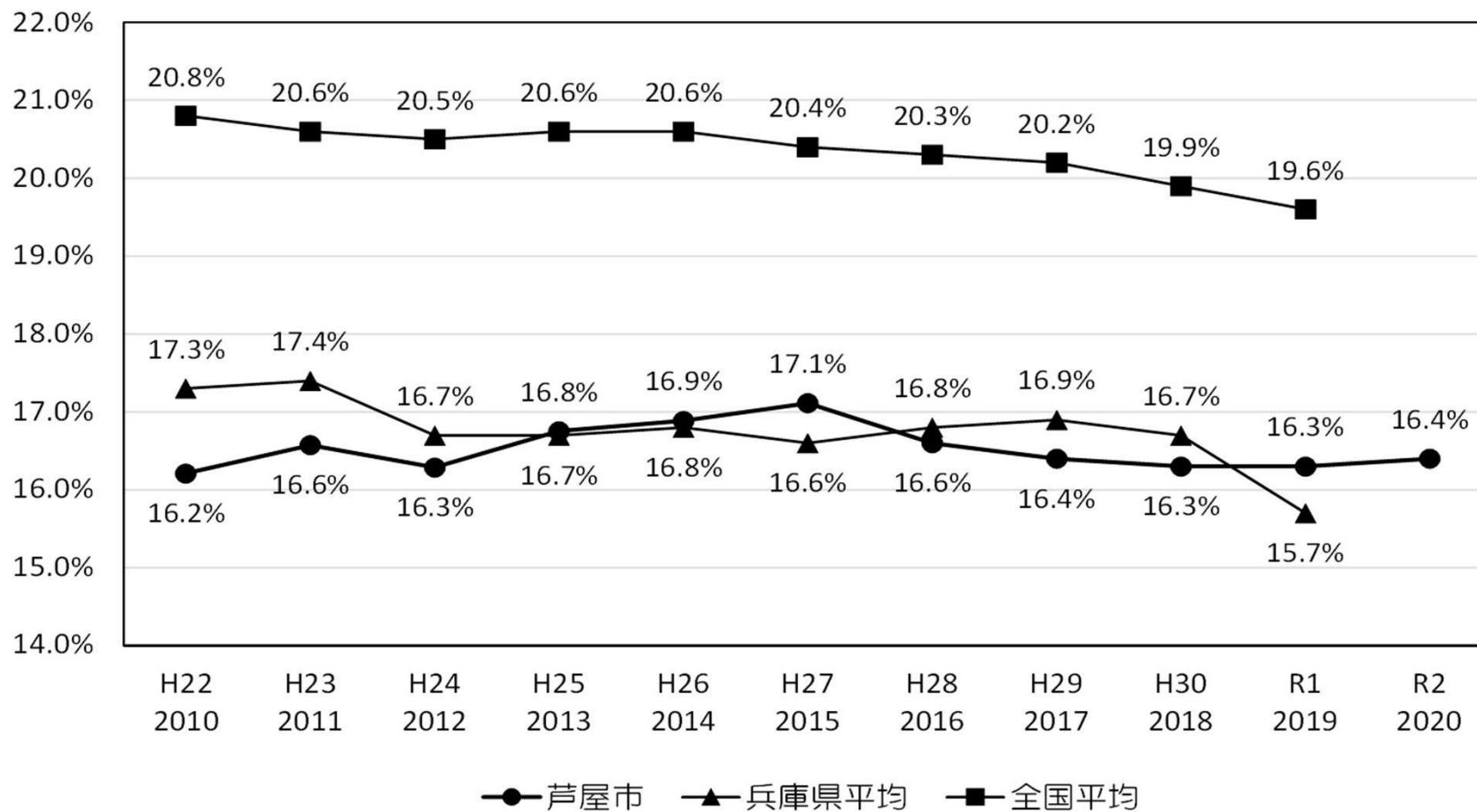
- 1人1日あたりごみ排出量の推移(他市対比)家庭系ごみ(資源ごみ・集団回収を除く) (単位: g/人・日)

自治体名	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019
芦屋市	582	580	574	578	570	568	557	554	552	※ 536
神戸市	549	524	506	500	494	489	481	480	479	482
西宮市	549	550	539	517	505	502	495	495	495	496
伊丹市	451	454	441	435	430	434	396	400	404	403
宝塚市	457	466	460	456	455	456	452	448	443	450
三田市	504	518	522	519	508	507	514	532	525	540
埼玉県志木市	518	515	505	488	479	474	468	464	462	463
東京都国立市	512	516	508	505	496	492	481	453	396	405
愛知県尾張旭市	548	535	519	509	502	497	482	477	473	483
愛知県日進市	547	549	533	521	510	520	499	496	476	487
全国平均	540	542	533	527	521	517	507	505	505	510
兵庫県平均	537	535	525	517	511	507	499	499	498	503

※令和元年度は水銀の基準値超えあり 令和2年度は550g

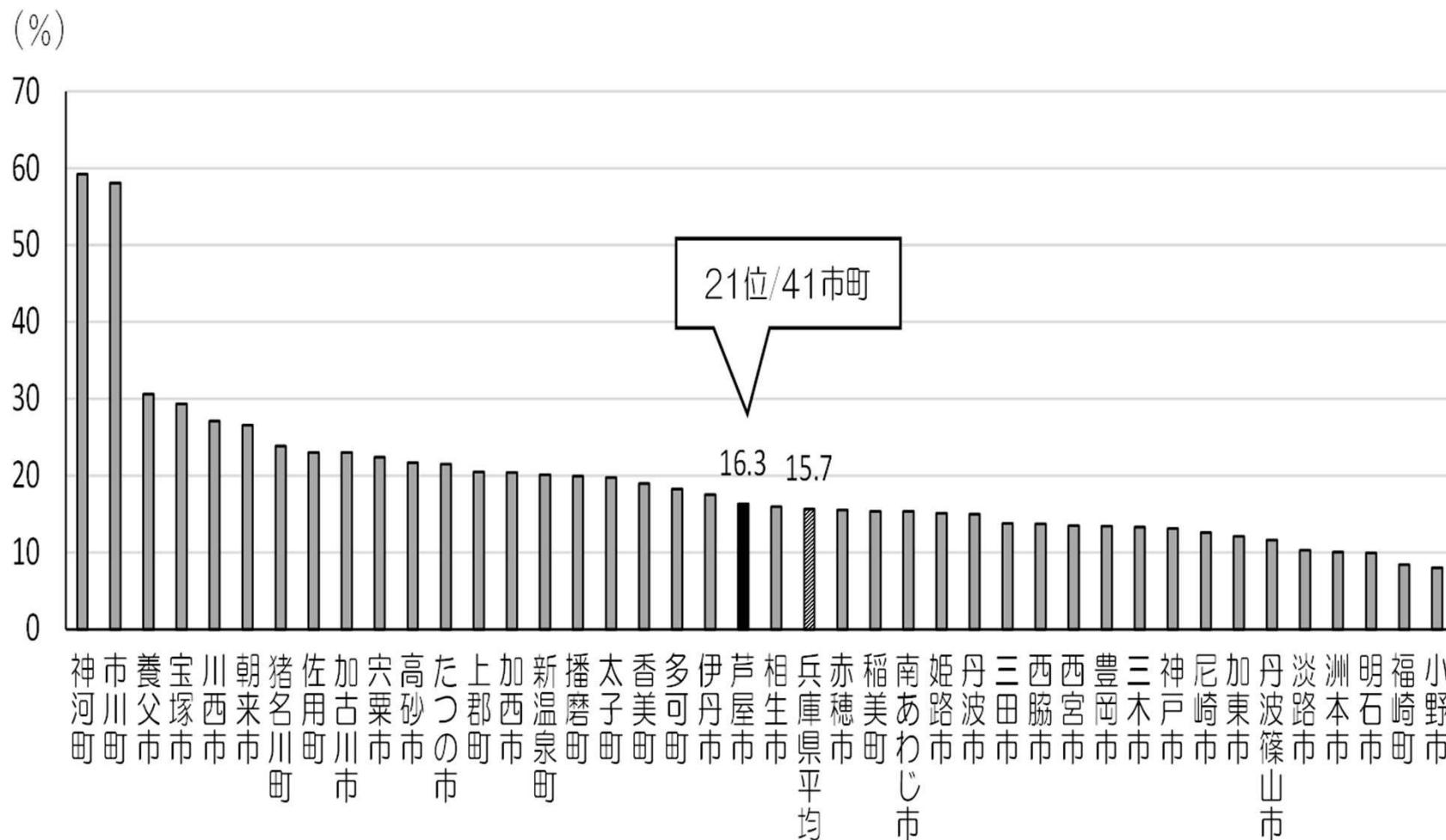
No.2資料 リサイクル率

全国平均，兵庫県平均が減少し続ける中，芦屋市はリサイクル率を維持し続けている



No.2資料 リサイクル率(県下比較)

県下では中間の順位。プラスチックの分別をしている近隣市よりリサイクル率は高い



令和元年度 兵庫県下リサイクル率

No.2資料 ごみの分別ができているかどうか(アンケート比較)

分別してごみ出しができているかどうかはほぼ変わらず

前回

	普段、あなた自身は、12分別でごみ出しをしていますか	件数	割合 (%)
No.	全体	1074	100
1	出来ている	646	60.1
2	どちらかといえば出来ている	345	32.1
3	どちらかといえば出来ていない	33	3.1
4	出来ていない(12分別は知っている)	14	1.3
5	出来ていない(12分別を知らない)	24	2.2
	無回答	12	1.1

今回

	普段、あなた自身は、12分別でごみ出しをしていますか	件数	割合 (%)
No.	全体	954	100
1	出来ている	522	54.7
2	どちらかといえば出来ている	378	39.6
3	どちらかといえば出来ていない	24	2.5
4	出来ていない	12	1.3
5	分からない	2	0.2
6	その他	7	0.7
	無回答	9	0.9

No.2 資料 (参考)燃やすごみの組成分析

燃やすごみのうち最も多いのは紙類

区 分		H27	H28	H29	H30	R元
種 類 別 組 成	紙・布類 %	42.49	47.49	38.23	47.45	43.36
	合成樹脂類 %	27.19	33.29	29.97	36.79	30.83
	塩ビ類 %	0.27	0.00	0.18	0.00	0.00
	木・竹・わら類 %	8.94	8.74	23.37	7.03	14.84
	ちゅう芥類 %	12.55	5.21	3.41	2.92	6.69
	不燃物 %	4.93	4.57	3.78	3.99	3.69
	その他雑物 %	3.63	0.71	1.06	1.82	0.60
単位体積重量	kg/m ³	96	117	115	108	110
低位発熱量	J/g	9,400	8,078	9,238	9,635	9,930
三 成 分	水分 %	37.74	45.28	38.54	36.98	35.29
	灰分 %	7.34	5.81	7.27	7.01	7.30
	可燃分 %	54.92	48.91	54.19	56.01	57.42

芦屋市組成分析結果

No.3資料 食品ロス対策

食品ロスは約半数の家庭で発生も各自対策を実施
ロス量も不明なため評価は困難 フードドライブの啓発が課題

あなたのご家庭で、食品ロスが発生すること		件数	割合 (%)
No.	全体	954	100
1	毎週のように発生する	59	6.2
2	1週～2週に1回くらい発生する	217	22.7
3	月に1回程度発生する	186	19.5
4	食品ロスが発生することはほとんどない	480	50.3
5	その他	-	-
	無回答	12	1.3

あなたが実践している食品ロス対策はありますか		件数	割合 (%)
No	全体	954	100
1	特売の食品の買いすぎや、家にある食品の重複購入を注意している	494	51.8
2	食べきれる分の食材しか買わない	502	52.6
3	冷蔵庫の中の食品等の消費期限や賞味期限を意識している	670	70.2
4	食べきれる分の料理を調理するようにしている	439	46
5	「フードバンク」や「フードドライブ」の活動に協力している	29	3
6	外食時には食べきれる量の食事を頼むようにしている	506	53
7	宴会時には食べ切り運動を実践している	45	4.7
	無回答	13	1.4

(参考)令和3年1月よりフードドライブを恒常化
1月～4月 492.6Kg

No.4,5資料 事業系ごみ

新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少しているが評価は困難
家庭ごみステーション利用者が減少しているが以前多くの事業者が利用

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総量	9,165	9,377	9,471	8,949	8,385

事業所で発生する燃やすごみ(生ごみ等)の処理方法

	前回のアンケート項目	件数	%
1	貴事業所で芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託	102	39.5
2	貴事業所自身で芦屋市環境処理センターに持ち込み	17	6.6
3	納入業者や販売店に回収を委託している	5	1.9
4	民間のリサイクル施設へ引き渡ししている	2	0.8
5	家庭ごみステーションにだしている	75	29.1
6	自社で処理している	11	4.3
7	ビル等の管理会社等が市の一般破棄物収集運搬許可業者に委託	30	11.6
8	その他	16	6.2

	今回のアンケート項目	件数	%
1	貴事業所で芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託	244	46
2	ビル等の管理会社等が市の一般破棄物収集運搬許可業者に委託	73	13.8
3	貴事業所自身で芦屋市環境処理センターに持ち込み	35	6.6
4	近くの家庭ごみステーションに捨てている	80	15.1
5	自宅等に持ち帰り, 家庭ごみとして捨てている	38	7.2
6	燃やすごみが発生しない	31	5.8
7	その他	19	3.6
	無回答	10	1.9

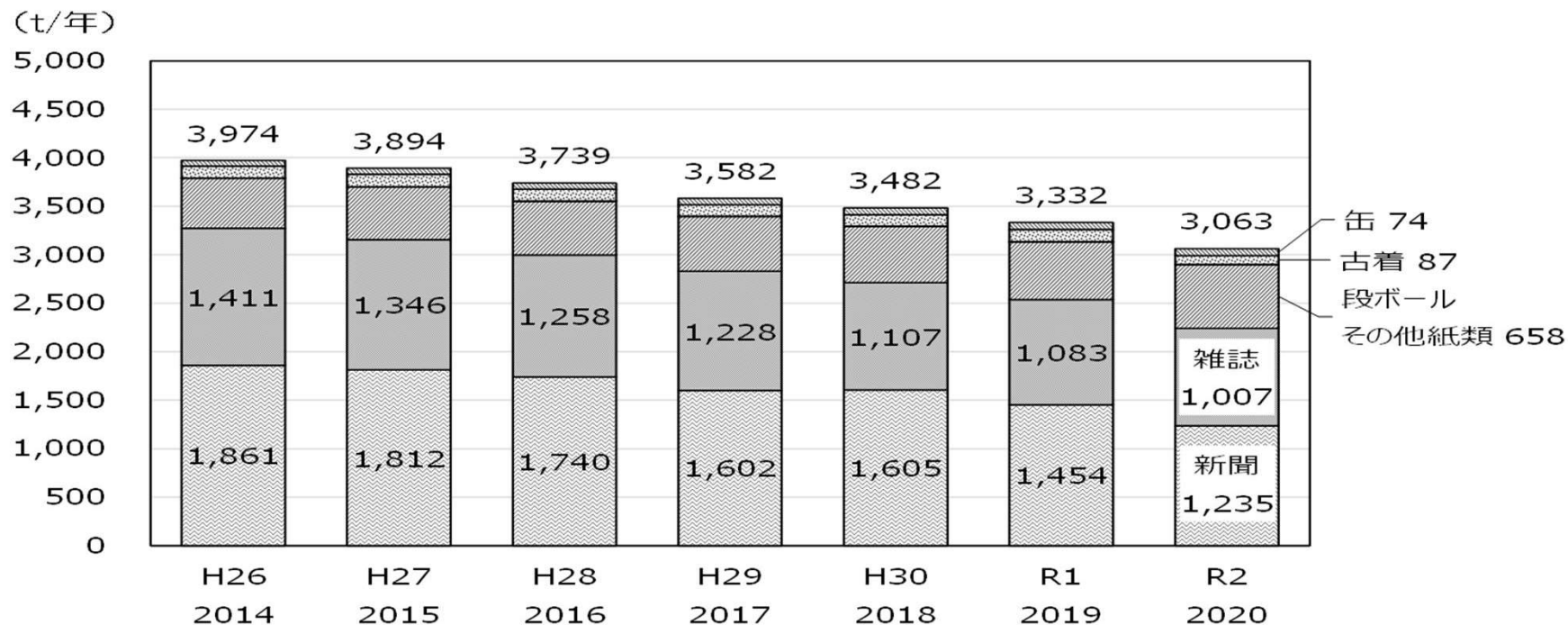
No.4,5資料 事業系の資源ごみの発生と分別の可否

事業系のごみを環境処理センターで引き受ける以上、分別が課題

事業所における資源ごみの発生の有無及び分別の可否について		発生有		分別の可否	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
No.	全体	530	100	530	100
1	缶 a. 商品など事業活動のごみ	203	38.3	170	83.7
2	缶 b. 従業員の昼食, 休憩等のごみ	264	49.8	229	86.7
3	びん a. 商品など事業活動のごみ	199	37.5	163	81.9
4	びん b. 従業員の昼食, 休憩等のごみ	202	38.1	174	86.1
5	ペットボトル a. 商品など事業活動のごみ	200	37.7	159	79.5
6	ペットボトル b. 従業員の昼食, 休憩等のごみ	300	56.6	240	80
7	新聞紙 a. 商品など事業活動のごみ	157	29.6	117	74.5
8	新聞紙 b. 従業員の昼食, 休憩等のごみ	73	13.8	55	75.3
9	段ボール a. 商品など事業活動のごみ	402	75.8	305	75.9
10	段ボール b. 従業員の昼食, 休憩等のごみ	89	16.8	75	84.3
11	パンフレット・カタログ a. 商品など事業活動のごみ	332	62.6	247	74.4
12	パンフレット・カタログ b. 従業員の昼食, 休憩等のごみ	90	17	69	76.7
13	雑誌・チラシ a. 商品など事業活動のごみ	306	57.7	223	72.9
14	雑誌・チラシ b. 従業員の昼食, 休憩等のごみ	98	18.5	74	75.5
	無回答	84	15.8	172	-

No.6資料 再生資源集団回収①

集団回収の量は年々減少 主たる原因は新聞・雑誌



項目\年度	直近5年の実績				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新聞紙	1,738,420	1,601,716	1,604,968	1,454,337	1,243,695
雑誌	1,257,813	1,227,538	1,106,518	1,082,559	1,008,066
段ボールその他紙類	554,180	564,358	582,474	595,212	659,602
古着	119,481	118,775	116,788	127,876	86,562
缶	64,021	65,671	69,482	70,637	74,703
紙パック類	3,074	3,609	1,472	1,336	1,454
合計	3,736,989	3,581,667	3,481,702	3,331,957	3,074,082

No.6資料 再生資源集団回収②

阪神間の中でも団体数は増加 1人当たりの回収量も多い

	平成27年度			令和元年度			増減率 (令和元年度－平成27年度)		
	回収量 (t)	人口1人 当たりkg	団体数	回収量 (t)	人口1人 当たりkg	団体数	回収量(t)	人口1人 当たりkg	団体数
尼崎市	7,754	17	561	5,483	12	550	-29.29%	-29.22%	-1.96%
西宮市	12,498	25.6	584	10,212	20.9	604	-18.29%	-18.21%	3.42%
芦屋市	3,894	41	171	3,332	34.9	181	-14.43%	-13.85%	5.85%
伊丹市	5,194	26.4	321	4,791	24.2	318	-7.76%	-8.41%	-0.93%
宝塚市	7,649	34.0	359	6,116	27.3	363	-20.04%	-19.96%	1.11%
三田市	3,456	30.4	80	3,496	31.4	82	1.16%	3.20%	2.50%
猪名川町	1,485	46.8	40	1,186	38.7	40	-20.13%	-17.35%	0.00%
川西市	6,427	40.2	171	5,064	32.2	160	-21.21%	-19.80%	-6.43%

No.6資料 再生資源集団回収制度③

再生資源集団回収制度に積極的に参加している人の割合は減少している

前回

	自治会や管理組合等の集団回収に参加していますか	件数	割合 (%)
No.	全 体	1074	100
1	積極的に参加している	609	56.7
2	あまり参加していない	127	11.8
3	参加したことがない	145	13.5
4	参加したいが登録団体を知らない	27	2.5
5	再生資源集団回収制度を知らない	151	14.1
	無回答	15	1.4

今回

	自治会や管理組合等の集団回収に参加していますか	件数	割合 (%)
No	全 体	954	100
1	積極的に参加している	458	48
2	時々、参加している	128	13.4
3	あまり参加していない	56	5.9
4	参加したことがない	263	27.6
	無回答	49	5.1

No.6資料 再生資源集団回収④

集団回収を利用しない最大の理由は、
どこが再生資源集団回収を行っているか知られていないから

No.	地域の集団回収を(あまり)利用しない理由	件数	割合 (%)
No.	全体	319	100
1	再生資源集団回収を行っている団体や自治会をよく知らない	185	58
2	自分の所属する団体や自治会が再生資源集団回収を行っていない	38	11.9
3	地域に管理組合や自治会がない	13	4.1
4	近所付き合いが面倒くさい	18	5.6
5	自治会活動に興味がない	27	8.5
6	古紙等は燃やすごみに出している	24	7.5
7	集団回収に出しても、他の業者が回収してしまう	9	2.8
8	地域やマンションの集団回収の実施の日時が生活スタイルと合わない	23	7.2
9	古紙回収業者に直接引き渡しているから	8	2.5
10	その他	20	6.3
	無回答	27	8.5

No.7資料 市内事業所の資源回収

スリムリサイクル店は減少しているが、市内には資源や処理困難物を回収する事業者があるため周知が有効

	市民の方が、貴事業所に無料で持ち込み(回収)できる品目	件数	割合(%)
No	全体	530	100
1	アルミ缶	44	8.3
2	スチール缶	30	5.7
3	びん	36	6.8
4	ペットボトル	48	9.1
5	段ボール	42	7.9
6	雑誌・チラシ・雑がみ等	35	6.6
7	新聞紙	35	6.6
8	紙パック	20	3.8
9	白色トレイ	10	1.9
10	携帯電話	7	1.3
11	ボタン電池	24	4.5
12	リチウム電池	19	3.6
13	その他	12	2.3
	無回答	438	82.6

	貴事業所が、市民の方から有料(事業として)で回収可能な廃棄物	件数	割合(%)
No	全体	530	100
1	土・土砂	26	4.9
2	石・ブロック	22	4.2
3	建築廃材	16	3
4	ガソリン・廃油	7	1.3
5	自動車部品	7	1.3
6	オートバイ	7	1.3
7	特定家庭用機器廃棄物(テレビ等)	25	4.7
8	中身の入ったカセットボンベ	7	1.3
9	その他(有害物質等)	4	0.8
	無回答	481	90.8

	上記回収事業所を、市のHPやハンドブックに掲載すること	件数	割合(%)
No	全体	530	100
1	掲載を望む	49	9.2
2	掲載しても問題はない	27	5.1
3	掲載を希望しない	99	18.7
4	どちらでもない	52	9.8
5	その他	4	0.8
	無回答	299	56.4

No.8,9資料 県下市の啓発ツールの状況

ハンドブックやカレンダーを両方全戸配布している自治体は少ない

市名	ハンドブック		カレンダー		アプリ	その他の周知・啓発ツール
	転入時配布	定期配布	転入時配布	定期配布		
芦屋市	○	○(2, 3年)	○	○	×	
神戸市	○	×	×	×	○	スマートスピーカー(音声案内)
尼崎市	○	×	×	×	○	
姫路市	×	×	○	○	○	
西宮市	○	×	×	×	○	
明石市	○	×	○	○	×	
加古川市	○	※1	○	○	○	
宝塚市	○	※1	×	※自治会	○	
伊丹市	○	※1	×	×	○	
川西市	○	×	○	×	×	
三田市	△	×	×	×	×	
高砂市	○	○(毎年)	○	○	○	
三木市	○	○(毎年)	○	○	○	
加西市	○	×	○	○	○	
赤穂市	○	×	○	○	×	収集日のみ市公式アプリで通知
小野市	○	○	○	○	×	
豊岡市	○	×	○	○	×	
洲本市	○	×	○	×	×	
たつの市	×	△	○	○	×	
相生市	×	×	○	○	×	
丹波篠山市	×	×	○	○	×	
養父市	○	×	○	○	×	
南あわじ市	×	×	○	○	×	データ放送
朝来市	○	×	○	○	×	
加東市	×	×	○	○	×	ごみ分別辞典
丹波市	×	※2	○	○	○	
淡路市	×	×	○	○	×	
西脇市	○	×	○	○	○	

No.10資料 ごみステーションやパイプラインのマナー

家庭ごみステーションやパイプラインのマナーが守られていると感じている市民は減少している

前回

	家庭ごみステーションやパイプライン等はマナーが守られているか	件数	割合 (%)
No	全体	1074	100
1	きちんと守られている	441	41.1
2	おおむね守られているが一部守られていない	561	52.2
3	あまり守られていない	35	3.3
4	まったく守られていない	3	0.3
5	わからない	21	2.0
	無回答	13	1.2

今回

	家庭ごみステーションやパイプライン等はマナーが守られているか	件数	割合 (%)
No	全体	954	100
1	きちんと守られている	380	39.8
2	おおむね守られているが一部守られていない	433	45.4
3	あまり守られていない	50	5.2
4	まったく守られていない	4	0.4
5	わからない	53	5.6
6	その他	6	0.6
	無回答	28	2.9

No.10資料 ごみステーションやパイプラインのマナー

ルールを守れていない中で1番多いのは分別

	どのような点が具体的にルールを守れていないと感じる	件数	割合 (%)
No.	全体	487	100
1	不燃ごみや資源が、きちんと分別されていない	226	46.4
2	収集日以外の日や、収集が終わった後でゴミが出されている	144	29.6
3	袋をネットで覆うなどのルールが守られていない	74	15.2
4	お店や事業所のごみが出されている	5	1
5	市外やステーション以外の地域に住む人がゴミを出している	60	12.3
6	その他	45	9.2
	無回答	46	9.4

No.12資料 プラスチックの分別

プラスチックを分別すべきという市民の割合は微増
市民の半分近くは熱リサイクルへの活用を選択

前回

	今後、プラスチック類のリサイクルについてどうすべき	件数	割合 (%)
No	全体	1074	100
1	プラスチック製容器包装を分別収集し、製品の原材料等にリサイクル	295	27.5
2	現状どおり焼却しての熱利用や将来的な焼却しての発電への活用	548	51
3	どちらでもよい	206	19.2
	無回答	16	2.3

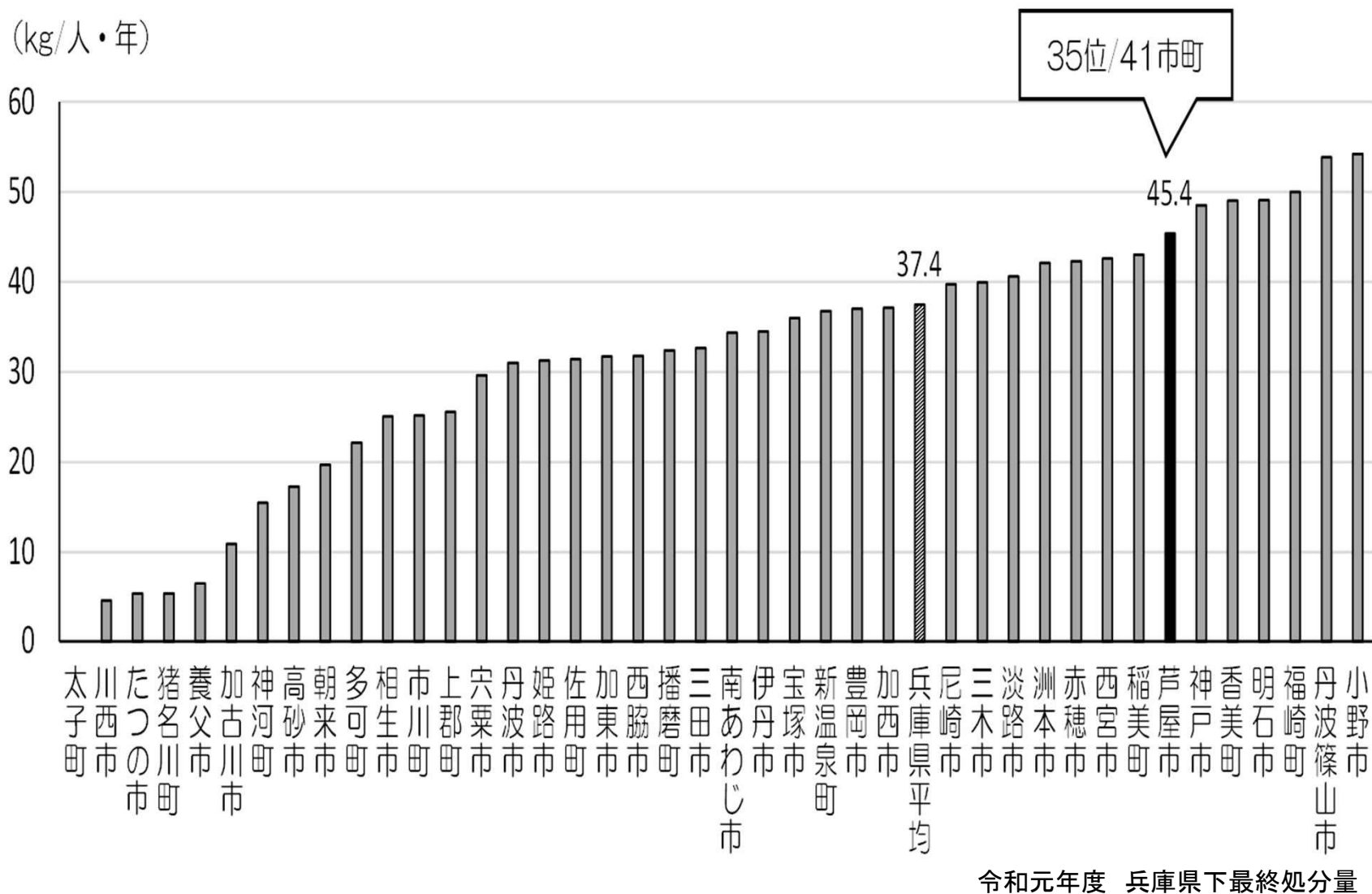
今回

	今後、プラスチック類のリサイクルについてどうすべき	件数	割合 (%)
No	全体	954	100
1	プラスチック製容器包装を分別収集し、製品の原材料等にリサイクル	319	33.4
2	現状どおり焼却しての熱利用や将来的な焼却しての発電への活用	472	49.5
3	分からない	125	13.1
4	その他	22	2.3
	無回答	16	1.7

一般的にプラスチックを分別した場合、1人1日当たりのごみ量(資源ごみを除く)は15g～25g程度少なくなる。

No.15資料 他市比較(最終処分量)

灰の量は結果でも非常に多い

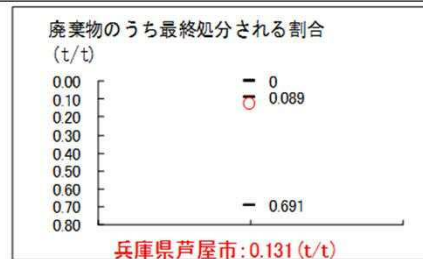
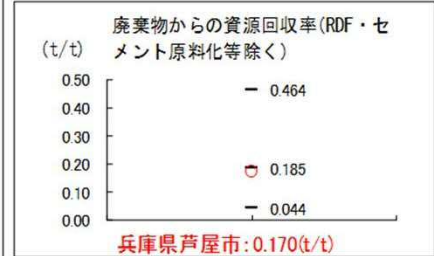
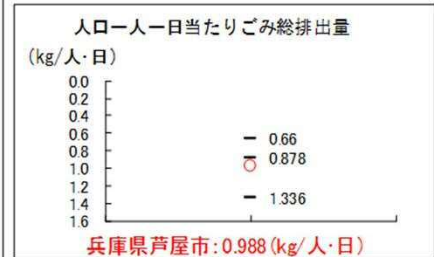
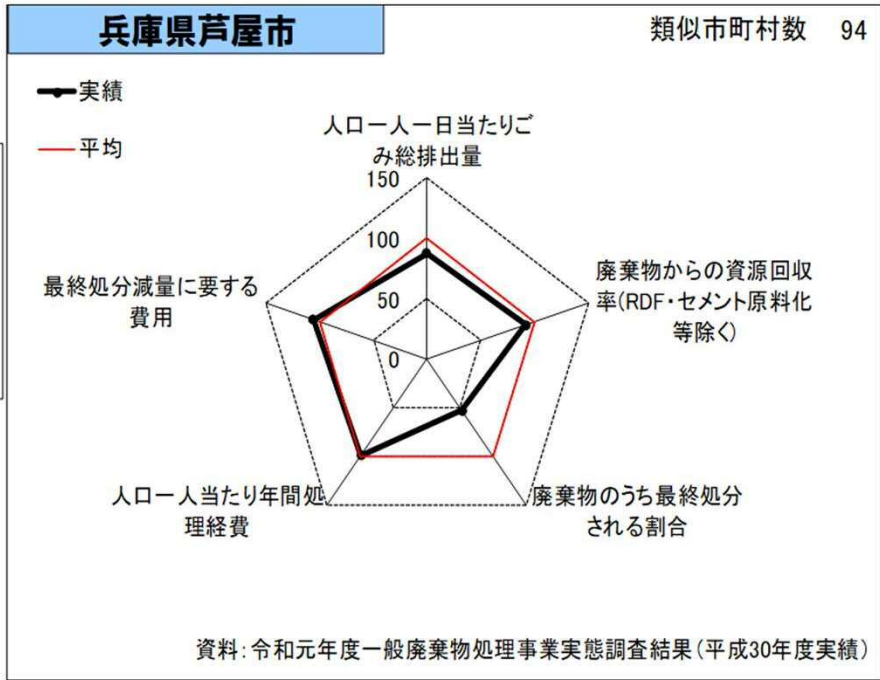
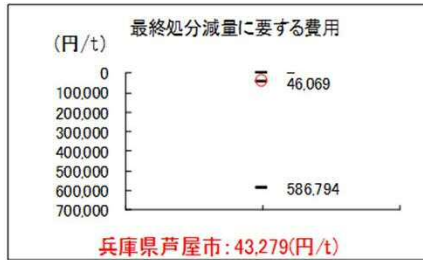


No.15資料 他市比較(類似団体比較)

類似団体と比較し最終処分の量が多い

市町村名	兵庫県芦屋市	人口	96,017 人			
		産業	Ⅱ次・Ⅲ次人口比率	99.8%	Ⅲ次人口比率	82.4%

類型都市の概要	都市形態	都市	
	人口区分	Ⅱ	50,000人以上～100,000人未満
	産業構造	3	Ⅱ次・Ⅲ次人口比95%以上、Ⅲ次人口比65%以上



次期計画における課題

わたしたち一人ひとりが主役となって、身近なごみを意識し、
持続可能な循環型社会を目指します

SDGs

排出抑制・減量化・再資源化

- 家庭系ごみ排出量の減量
- 分別の徹底
 - 紙ごみの削減
- 再資源化の促進
 - 集団回収
 - 民間店舗等との協働

1人1日当たりの家庭系のごみ量
リサイクル率
組成分析の紙ごみの割合
最終処分量 etc

事業系ごみの適正化

- 排出者責任

家庭ごみステーションを
利用する事業者の割合 etc

収集・中間処理

- 安全と安定の運営
- 経済的効率化

安定稼働している日数 etc

参考 SDGs①

1 SDGs とは

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。（その下に、169のターゲット、232の指標が決められている。）（図1）

① SDGs の特徴

普遍性：先進国を含め、全ての国が行動

包摂性：人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」

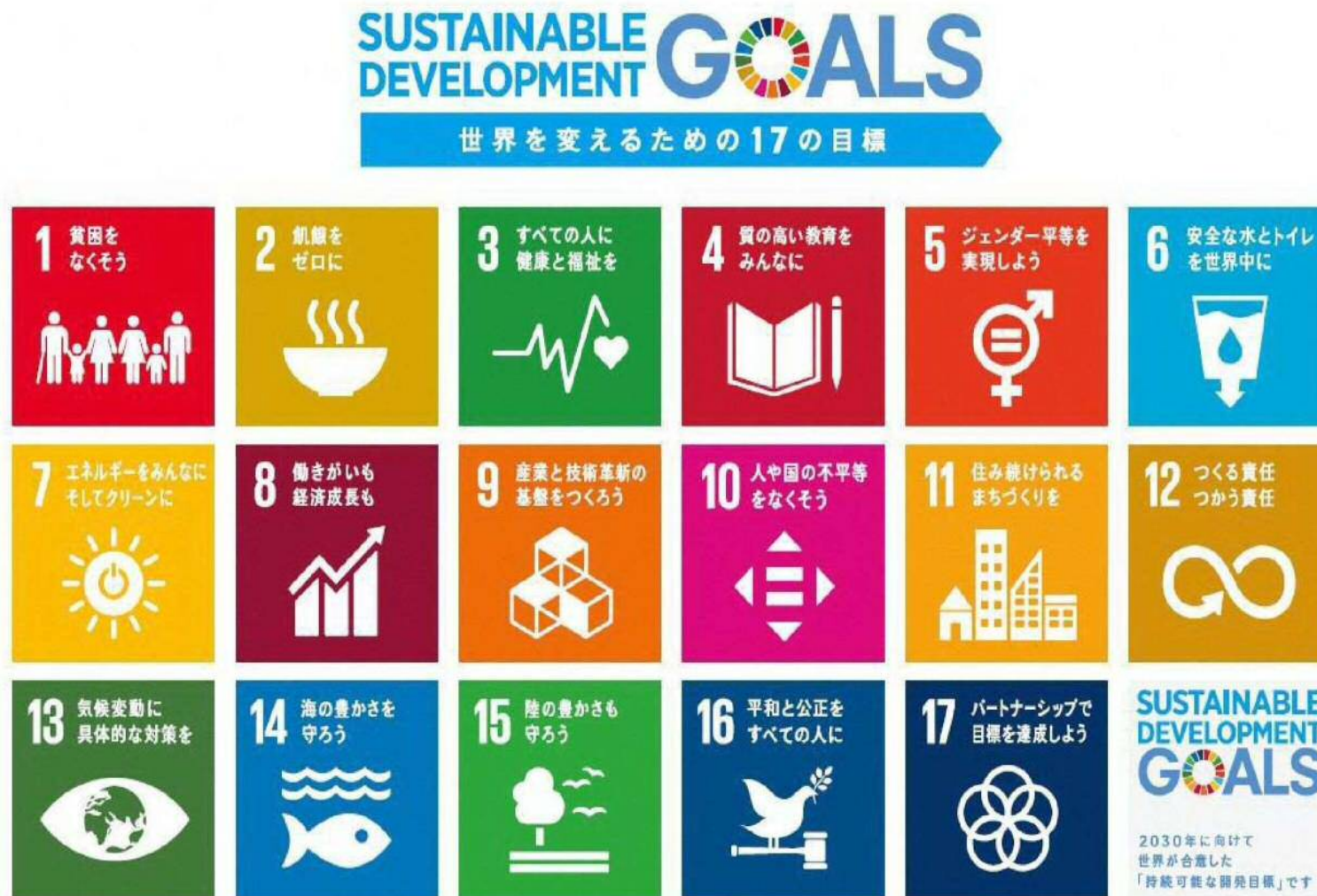
参画型：全てのステークホルダーが役割を

統合性：社会・経済・環境に統合的に取り組む

透明性：定期的にフォローアップ

参考 SDGs②

図1 SDGs の 17 のゴール



出典) SDGs (持続可能な開発目標) 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ HP (外務省)